学校番号	410

令和３年度　芸術科書道

教科	芸術科書道	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（光村図書）						
副教材等	使用なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年間学習してきた内容を活かし、大作の臨書、創作活動を行います。作品制作に伴う、表具やパネル張りまで全て自分で制作することにより、豊かな発想力、表現力を身に付け、感性を磨きましょう。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と国際社会における我が国の伝統芸術としての書の在り方と広い視野からの書を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化を生かしながら、国際社会における我が国の伝統芸術としての書の在り方を考慮し、広い視野から書を尊重する態度を育てる。	幅広い視野に立ち、筆者の精神性や美意識、感性や表現方法としての様式美を理解し、自らの意図に基づいて構想し、個性豊かな表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解を深め、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	半切臨書及び表具	・半切に好きな古典を臨書する	○		○		a:それぞれの古典の美の多様性、特徴を感得し、書体に即した用筆・運筆を主体的に学ぼうとしている。 b:点画や線質の技法を考え、工夫している。 c: 字体の構成を理解し、全体の構成を考え、工夫している。 d:自らが選択した古典の美や諸要素に関心を持ち、表現効果を理解しようとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
2学期	全紙一字書創作 および表具	・好きな書体で、全紙に一字書創作 ・表具 ・鑑賞会		○	○		a:表現形式に応じた構成を工夫し、表具や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b: 古典の臨書や鑑賞で学んだことを自己の意図した表現に生かし、個性的に表現している。 c:感興や意図に応じ、主体的に表現を構想し工夫することができる。 d:様々な表現方法、紙面に対する表現効果を理解し、個性的な表現を感じ取ることができている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

	漢字仮名交じり創作	・自分なりを表現する文章を全紙に書こう		○		○	a:感興や意図に応じ、主体的に表現を構想し工夫しようとしている。 b:自己の意図に応じ、文字や文字群、余白など全体の構成を工夫している。 c:古典で学んだ、用筆・運筆を参考に、また個性的に表現形式を工夫することができる。 d:漢字と仮名の調和した書の美の諸要素に関心を持ち、その表現効果を理解しようとしている。	観察 レポート ポートフォリオ 提出作品
3学期		・表具 ・鑑賞会	○			○	a:感興や意図に応じ、主体的に表現を構想し工夫しようとしている。 d:漢字と仮名の調和した書の美の諸要素に関心を持ち、その表現効果を理解しようとしている。	観察 レポート 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。